

緊急 東北地方大地震関連

報道関係各位

2011年3月16日(23時00分時点)

民間災害支援団体「CIVIC FORCE」第7報 気仙沼で支援開始、衛星電話を無料開放 緊急募金も引き続き受付

国内の大規模災害時にNPO・企業・行政と連携を取り、迅速で効果的な支援を行う民間団体「公益社団法人 Civic Force(シビック・フォース)(本部: 東京都港区、代表理事: 大西 健丞)」は、3月11日午後発生した東北地方太平洋沖地震の被災者支援として、宮城県気仙沼市の2か所の避難所において、緊急支援活動を行っています。

約700名が避難している気仙沼市立気仙沼中学校では、通信環境の整わない中で被災者に対し、衛星電話の回線を無料開放と充電サービスの実施を行いました。家族の安否を確認するため、また被災者自身の生存を伝えるために多くの被災者が利用のために行列を作りました。通信環境の整備に対し、高いニーズがあることを確認しました。また、同場所において、15日に空路で運び込んだ緊急支援物資である果物約1000個を配布しました。

約1500名が避難している気仙沼市立総合体育館においては、また、IKEA JAPANとの連携事業により、無償提供された支援物資を配布しました。

【IKEA JAPANにより無償提供いただき、配布した物資】

かけ布団(600枚)

【16日22時現在、現場に滞在するPWJスタッフ】

長妻 勉(PWJ国内事業部) 千葉県出身 國田 博史(CIVIC FORCE)・愛媛県出身

佐久間 隆(PWJ海外事業部) 東京都出身 山本 理夏(PWJ海外事業部) 神奈川県出身

松田 憲(PWJフェアトレード部) 山梨出身

16日夜、現地より東京に戻ったCIVIC FORCE代表・大西は、現地では、日を追うごとに物資不足が深刻になっている可能性があることを報告しています。阪神・淡路大震災の際には、地震発生後5、6日経過するころには支援物資が行き渡り始めていたものの、この度の東北関東大震災においては、津波の被害が甚大であった三陸の港町へのルートがいたるところで遮断されていること、また福島原発事故の影響によりアクセスが一層困難なことが考えられます。

現地では、避難所にいる被災者の方々が1日2食の配給で過ごしており、栄養や衛生の観点からも、今後の被害が深刻化されることが懸念されます。食料、水、毛布や医薬品も十分でないため、今後はこれらの物資の調達、輸送手段なども計画しながら、17日以降の物資輸送を計画しています。

Civic Forceではみなさまからの寄付を受け付けています。ご協力をお願いいたします。

【銀行】 銀行名:三井住友銀行 青山支店 普通 口座番号:6973031

口座名:公益社団法人 Civic Force(コウエキシャダンハウジンシビックフォース)

【ゆうちょ】 口座番号:00100-1-662850 加入者名:公益社団法人 Civic Force

【クレジットカード】 Just Giving Japan(<http://justgiving.jp/c/1515>)

◆報道関係者からの問い合わせ先:

公益社団法人 Civic Force 担当: 粕谷・根木(ねき) TEL: 03-6804-6063、FAX: 03-5770-0531

Email: info@civic-force.org